

# 令和2年度 事業報告書

1. 基本理念（社会福祉の基本原理に則り、支援を必要とする人々が楽しく、喜びを感じ充実した生活を送れるよう共に考え、共に笑顔になれるようなサービスを提供、健全な法人運営に努め、地域福祉の発展に寄与）と基本方針（利用者の生活実態を見極め、研究に取り組み、専門性を高め、利用者それぞれの能力や個性、ニーズに応じた支援ができるようサービスの質の向上に努め、創造性、独自性を発揮した福祉サービスを提供し、魅力ある作業所づくりに努める。法令を遵守し、利用者や地域に対して情報開示や説明責任を果たす。）については大きく道を外れることは無く、全職員が常に意識しながら行動できたと感じている。
  
2. 法人の事業目標と達成のための具体的取り組みについて、次の5点を掲げたが、
  - (1) サービスの質の向上
    - 目標① 利用者の意見を聞く体制と実現への配慮
    - 目標② 安全で快適な環境づくり
    - 目標③ リスクマネージメント
  - (2) 職員の育成
    - 目標④ 研修への参加
    - 目標⑤ 法人内専門委員会の活性化ほぼ予定通りにできたと感じる。ただし、目標④については研修の数自体の減少により予定より少なめ、目標⑤はその影響もあってか逆に活発になった。

## 3. 各事業所における目標と取り組み

作業所名：目標（取り組み）

倉敷作業所：安全安心な通所の実施（利用者ファーストを心掛ける。）

結果：実施できた。より質の高い公平な支援ができたと感じられる。

水島作業所：工賃の向上（利用者とともに目標を設定、達成の努力をする。）

結果：残念ながら発注量の減少で工賃は僅かながら下がった。取り返すべく方法を講じている。

児島作業所：作業能力と工賃の向上（作業の達成感創出、新規作業の獲得）

結果：工賃は上がったが職員の負担も増え、今後は利用者さんが拘わる部分を増やしていくことを課題とする。

玉島作業所：作業能力と工賃の向上（作業の達成感創出と適正な訓練の継続）

結果：新規作業がまずまず順調。作業の好き嫌いがあるので、それぞれが実行可能な作業分担をすることが課題となっている。

洲崎作業所：工賃の向上と安定、充実感（既存に加え新規作業の安定を図る。）

結果：今までのバリ取りも増えたが、農業関係の作業も開拓できるかも。

## 令和2年度 事業報告書

相談支援事業所：充実した計画の提供（検討、見直しを重ねる。）

結果：元々の契約件数が少ないので、じっくりプランを練れている。

また、各事業所共通の目標として、

- ・今後数年間の内に、全契約者数を 100 名とする。
- ・苦情の撲滅
- ・個人情報の保護と適正な運用
- ・コンプライアンスを重視しつつ、体制維持のため内部監査を実施する。

をあげたが、契約者数以外はほぼ満点をつけられる結果。

### 4. 地域における公益的な取り組み

生活困窮者への衣服の提供等を実施したが、継続・安定的な仕組みづくりが今後の課題となった。

### 5. 研修

- |           |                           |               |
|-----------|---------------------------|---------------|
| ・管理者会議と研修 | 毎月                        | Web 活用で活発化    |
| ・全職員研修    | 年 1～2 回                   | 資料活用とした。      |
| ・法人内委員会   | 4 委員会を隨時                  | Web 会議に慣れてきた。 |
| ・新職員研修    | 採用事業所での OJT、他事業所で 10 日間程度 |               |
| ・法人外研修    | 隨時                        |               |

### 6. 行事（主な法人行事。尚、理事会等は要請があれば随時開催する。）

- |       |                     |
|-------|---------------------|
| ・理事会  | 実会は実施せず、文書による開催とした。 |
| ・監査   | 開催済み                |
| ・評議員会 | 実会は開催せず、文書による開催とした。 |

総括 以上、実現可能な範囲で最大限の努力をもって、障がい者の生活へ資することができるよう努めた。